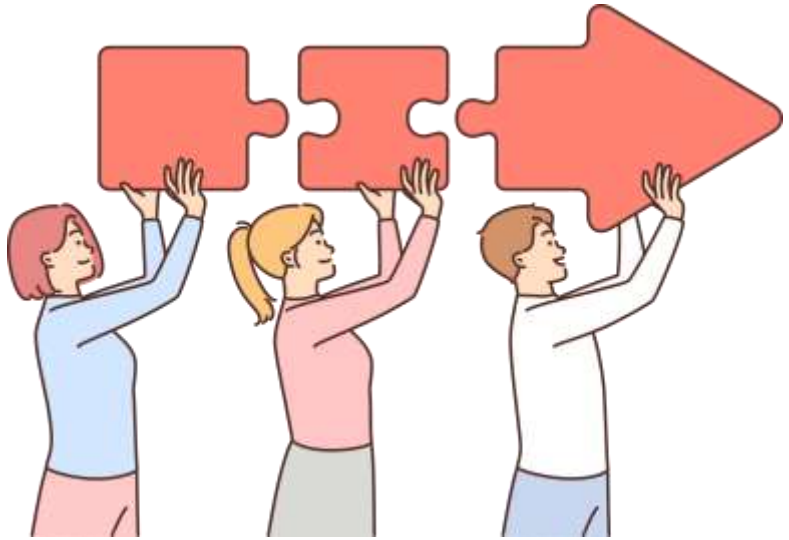


市民の想いと得意を地域の力に

社会人ボランティアの力を
習志野の地域活動団体につなぐ

ならしのプロボノ2026

事業説明

令和8年度習志野市市民協働型委託事業

※団体募集、社会人ボランティア募集、共に終了しています

1

事務局団体について

千葉県全域を対象に、地域づくりのコーディネートを行う
中間支援団体で、2019年よりプロボノ事業を実施しています

NPOクラブの組織と事業

千葉県全域を対象に、行政をはじめ様々な組織と連携しながら、
NPO・市民活動を支援し、地域づくりのためのコーディネートを行う中間支援団体

地域力、福祉力、市民力 ー さまざまなチカラを
あつめる、つなぐ、高める、広げる

NPOクラブは 市民が主体のまちづくりを支援します

＜沿革＞
・2000年10月　ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NPOクラブ）設立
・2001年　2月　特定非営利活動法人認証
・2016年　2月　認定NPO法人に

・会員数：運営会員 22名、賛同会員 89名　　役員数：15名
・職員数：14名　年間事業高：約3,700万円

NPOクラブは市民が主体のまちづくりを支援します

少子高齢化、地球温暖化による災害の多発･･･地域の、日本の、世界の状況は変化の中にあります。

市民ひとりひとりが、地域の課題を他人事とせず、自分たち自身の課題として考え行動し、自分たちで暮らしやすい社会を創るために、NPOクラブは次の事業を実施します。

NPOクラブのあゆみ

- 1998　NPOクラブの前身「市民スクール」を開設
- 2000　ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NPOクラブ）設立
- 2001　特定非営利活動法人認証
  2000年～2010年間で、市民活動支援「一歩くん基金」として67団体に総額1,713万円の助成をし、NPO創成期の一助を成す
- 2017　認定特定非営利活動法人を取得

会員数・組織体制（2024年2月現在）

- 会員数：運営会員21名　賛同会員99名
- 役員数：15名（理事13名、監事2名）
- 職員数：17名　ボランティアスタッフ：5名

01

NPOの支援事業

地域課題を解決する力をつける

NPOの運営相談対応

市民やNPOからのボランティア活動、会計、マネジメント、法人の運営、事業報告書の作成などの相談に応えます。必要に応じて、専門家（税理士、社会保険労務士など）につなぎます

NPOのマネジメント講座の企画・運営



団体の基盤強化、運営力向上につながる内容で講座を開催し、活動の継続や広がりを後押しします（千葉県市民活動団体マネジメント講座を受託実施）

市民活動に関わる講座の講師を派遣

NPOと自治体との協働、団体のマネジメント、市民の地域づくり活動への参加などについて講座企画の相談に対応し、講師を派遣します

助成金・セミナー情報などの情報収集と提供



メールマガジンの配信、ニュースレターの発行、ホームページ、SNSなどで県内外の地域づくりに関わる情報を広く発信します

02

被災者支援事業

被災者も包摂できる地域に

福島県県外避難者支援・相談事業（福島県受託）



福島県から千葉県に避難している方たちの孤立を防ぐために、県内外の支援団体や自治体と連携して相談対応や交流の場づくりを行います。また、転居についての相談対応や手続きについての支援もします

03

地域づくりのコーディネート事業

地域に関わる人を増やす

四街道市みんなで地域づくりセンター運営（四街道市受託）



地域課題の解決に向けて、市民参加・協働をすすめる拠点として多様なプログラム、ネットワークづくりを実施

多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営



シニアや子育てママなど様々な世代の交流の場として、千葉市花見川区検見川町で、地域の居場所を運営。多彩なプログラムを開催

ちばし地域づくり大学校企画運営（千葉市受託）



働く世代、学生、シニア等が地域づくりへの理解を深める学びの場を企画運営。地域活動に参加するきっかけと出会いの場を提供

「ちばボランティアナビ」の活用促進事業



千葉県のボランティアマッチングサイト「ちばボランティアナビ」をツールに、団体の受け入れ支援、体験会の開催など地域でのボランティア活性化・定着に取り組んでいます

プロボノ事業



社会人のスキルや経験を活かしたボランティア「プロボノ」をプロジェクトとして企画運営し、団体の運営課題への取り組みを伴走支援（習志野市、市原市で受託実施）

他組織、行政との連携・協力

県内外の中間支援組織との連携。県内団体のネットワークづくりを促進。千葉県や県内自治体の委員・助成金審査員、他法人の監事・理事などに就任。千葉県市民活動支援組織ネットワークの幹事団体。

NPOクラブ　プロボノ事業のこれまで

2026年度
- **「いちはら町会プロボノ」**を新たに実施（市原市受託）
- **「ならしのプロボノ」** ３年目を実施（習志野市受託）

2025年度
3年間で延べ10団体、46名のプロボノワーカーが参加

2024年度

2023年度
- **「ちばふるさとプロボノ」**を実施（認定NPO法人サービスグラントと連携実施）

県内の3事業者、延べ7名のプロボノワーカーが　7プロジェクトに参加

2022年度
- 3年間の振り返りのアンケート追跡調査を実施

⇒情報交換会の実施　　プロボノワーカー18名が参加（自主事業）

2021年度

2020年度
- **「ちばプロボノチャレンジ」** 千葉県域で実施（千葉県受託）

3年間で延べ20団体と延べ64名のプロボノワーカーが参加

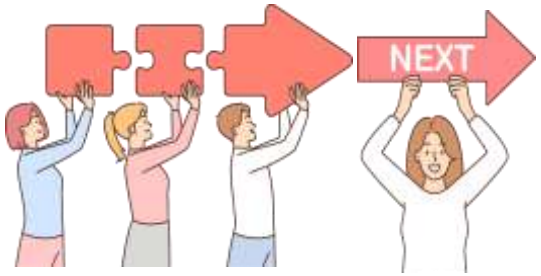
2019年度

2

「ならしのプロボノ2026」の事業内容について

このプロボノ事業は、習志野市との協働事業として
3年目の実施となります

市民の想いと得意を地域の力に



仕事や生活で得た経験やスキルを活かすボランティア「プロボノ」。習志野市で活動する団体の運営基盤の困りごと解決に、社会人ボランティアの多様なスキルや経験をつなぎ、団体のステップアップをめざす取り組みです。テーマでつながる新しい地域との関わり方を応援します。

「習志野市をもっと楽しく暮らしやすく」に、
「市民活動団体の力✖市民の想いと得意」で貢献します

まずは、「プロボノ」とは？



プロボノとは、職業上の経験やスキルを生かして取り組む社会貢献活動のことで、「公共善のために」を意味するラテン語「 Pro bono publico」 に由来すると言われています。自発的に行うボランティアのひとつの形です。

ラテン語

Pro bono publico

↓ ↓ ↓

「～のために」「善」 「公共」

災害時に行われる職能を活かしたボランティアをはじめ、ビジネススキルを公益的な活動に活かすなどの活動が、プロボノとして日本の全国各地で広がりつつあります。

地域で活動する団体の運営課題にプロボノを



日々の活動に手いっぱいで、運営面の専門的な技術や知見は不足しがちな団体が多くあります。寄せられる相談例や調査結果を見ると、活動歴の長い団体の高齢化とそれに伴う人材に関わる課題をはじめ、団体それぞれが状況、悩みともに千差万別。

個別の伴走支援が必要な場面が多く、外部からの新しい視点や外部のビジネススキルなどのサポートで、団体の活動がステップアップできることがたくさんあります。

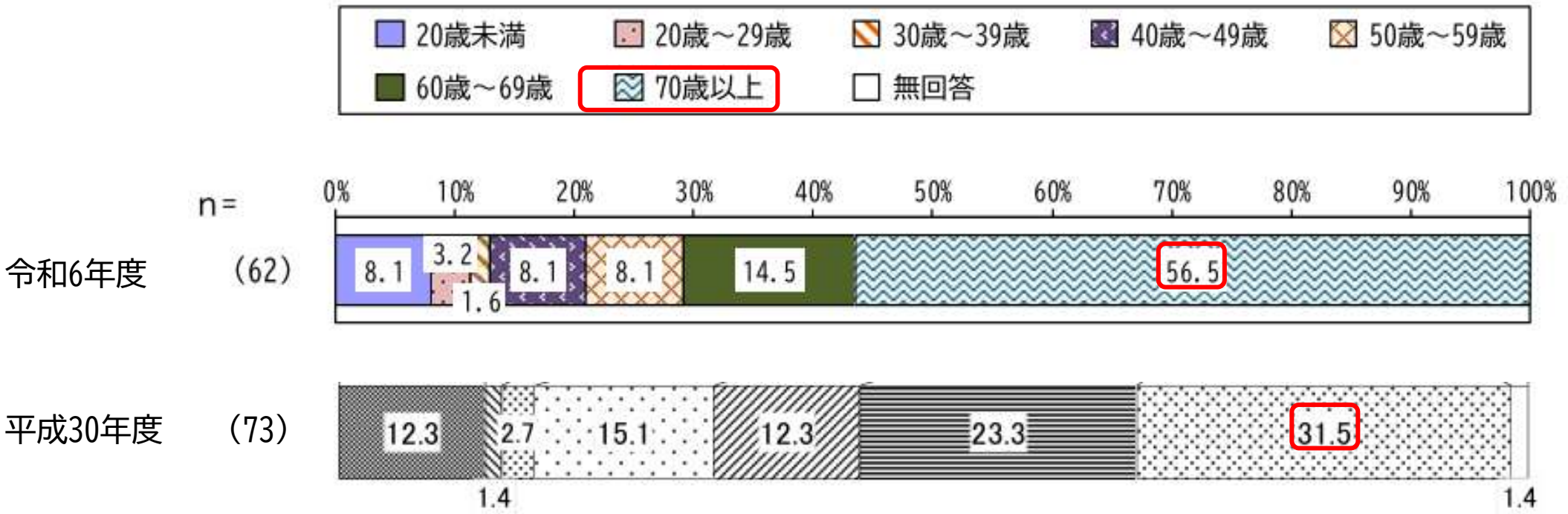
参考資料

市民活動団体で進んでいる高齢化

令和６年度 習志野市健康意識調査報告書 の市民活動団体調査
（令和7年3月公表）より

＜回収状況＞
市民活動団体調査 62件 78.5%
（市民活動団体等の中から79団体を無作為抽出）

（３）最も多い年代
問３．貴団体に所属している会員で一番多い年齢は、いくつ位の方ですか。
（１つだけ番号を〇で囲んでください）



参考資料

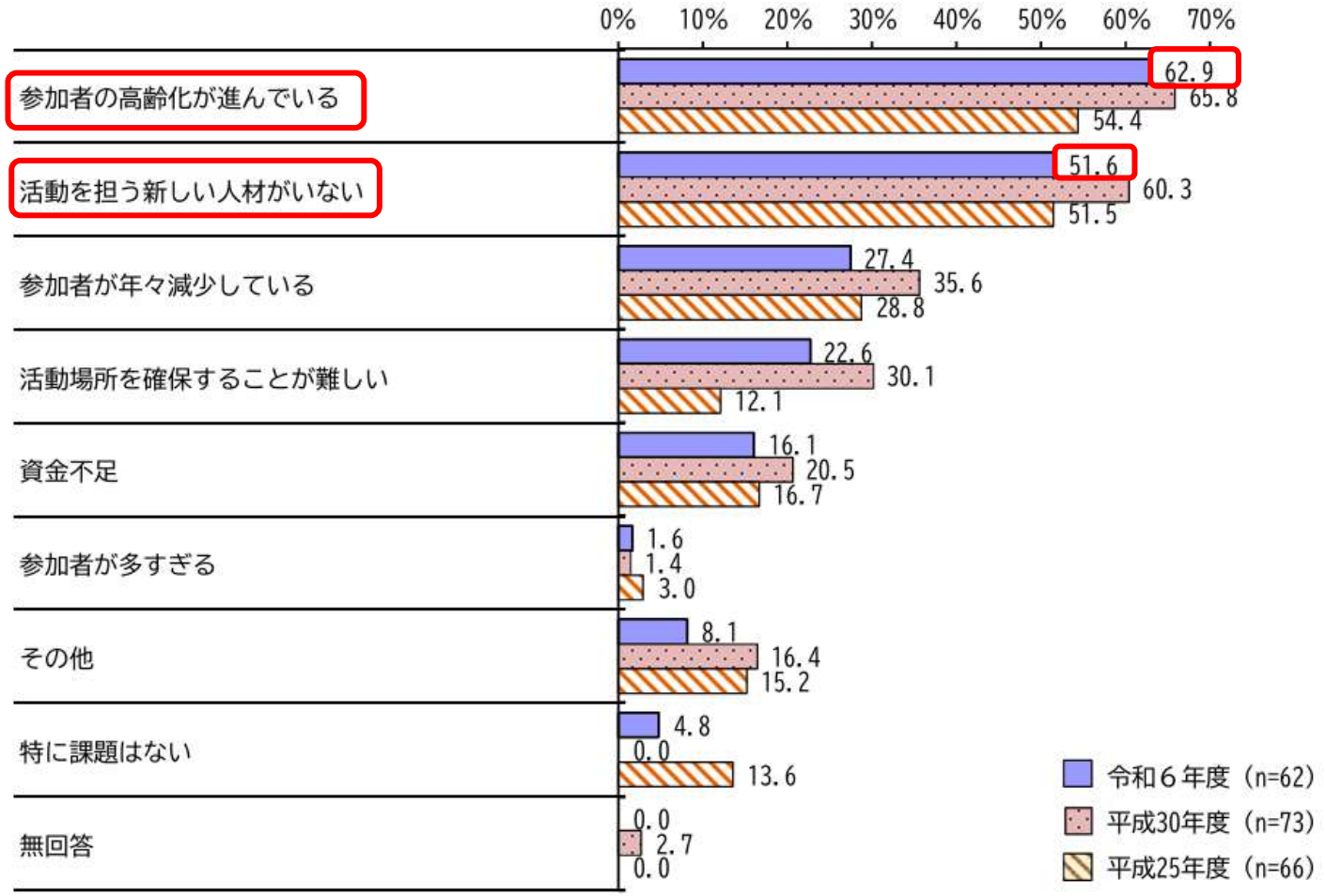
市民活動団体の課題感は、人材に関することが依然上位

令和６年度
習志野市健康意識調査報告書 の
市民活動団体調査
（令和7年3月公表）より

（８）活動を継続していく上での課題

問11. 貴団体の活動を継続していく上で、課題となっていることはどういったことですか。
（あてはまるもの３つまで選び〇で囲んでください）

※「令和7年度千葉県ＮＰＯ法人実態調査」でも
高齢化、リーダーや後継者が育たない等、
組織の人材に関する課題が高い値となっている



参考資料

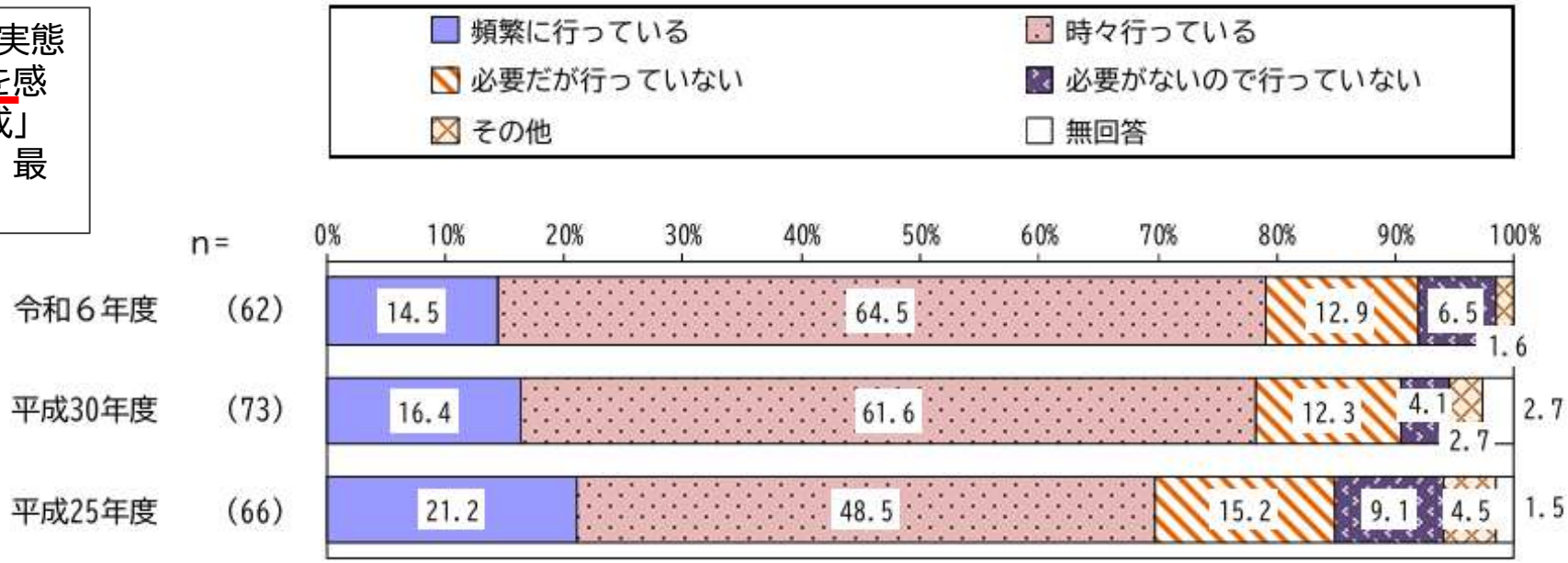
団体は担い手不足だが、人材獲得、育成の促しは十分ではない

令和６年度 習志野市健康意識調査報告書 の市民活動団体調査
（令和7年3月公表）より

（７）団体参加者増加を目指した声掛けなどの頻度

問10. 貴団体への参加者の増加を目指し、地域の方々に参加の声掛けなどを行ったりしていますか。
（１つだけ番号を〇で囲んでください）

※「令和7年度千葉県ＮＰＯ法人実態調査」でもスキルアップの必要を感じている事務として、「人材育成」「会員や協力者の増やし方」が、最多になっている



プロジェクト型プロボノを習志野市で

チームで
短期集中で！





外部の力と視点
がGood！

団体の運営面の困りごとを切り分けて、期間を区切ってプロボノで支援し、市民活動を促す取り組みを習志野市は協働で行っています。

課題やニーズに応じて事務局で編成されたプロボノチームで、期間内で取り組み可能な支援範囲やゴールを設定し、プロジェクトとして取り組みます。

期間限定で行うので、忙しい人も関わりやすく、チームの仲間とつながり刺激しあいながら、より地域のことを知れるボランティア参加の機会となります。また、外部の力や視点が、団体の運営基盤の強化や団体運営の見直しにつながります。

プロジェクトチームで課題解決に取り組みます



公益的な活動を行う
NPO・地域活動団体

外部の力を借りて
基盤強化に取り組み、
活動を発展させたい

プロジェクトチーム
めざせ課題解決！

社会人ボランティア
3～5名



経験やスキルを活かして
社会貢献したい

事務局
（NPOクラブ）

・両者の募集、マッチング
・プロジェクトの運営支援
・協働の仕組みづくりを支援

習志野市
協働政策課

「協働の仕組み」の基盤を支える

プロジェクトで行うから、こんなイイこと

初めてのプロボノでも参加しやすい

「運営上の困りごとを解決したい地域活動団体」と「3～5名の社会人ボランティア」を事務局がつなぎ、
ひとつのチームとなり、課題解決にあたるプロジェクト型のプロボノ。支援内容と期間を絞って、短期集中で行います。

01

チームで支援！

・外部の様々な視点やスキルの提供を受けられる
・分担して進められ、得られる成果も広がる

02

約３~4ヵ月間！

・期間限定なので忙しい人も都合がつけやすい
・短期集中で、ゴールが明確なので取り組みやすい

03

伴走サポート！

・事務局が団体と社会人ボランティアの間に入って、伴走支援。困ったときに相談できます。

▼プロボノ活用例▼

支援内容は団体の課題、支援希望をヒアリングした後、団体の状況にあわせて設定します。活用例は一部です

運営を改善・強化したい！

事業計画の立案

団体メンバーそれぞれの思いをワークショップ等で整理し、反映した事業計画づくりを支援します

作業効率化の提案

作業内容の棚卸・整理を行い「見える化」することで、効率化するための提案を行います

資金調達を強化したい！

営業資料の作成

企業との連携・協働の実現に向けて、団体のプレゼン資料の作成または改善・更新を行います

資金調達案の提案、寄付管理

寄付管理の効率化検討および必要な「ツール」の構築を支援したり、資金調達の提案を行います

参加の輪を広げたい！

団体リーフレットやチラシ案作成

伝えたい人たちへの参加を訴える効果的なチラシや団体の紹介パンフレット案などを作成します

オンライン環境の整備

オンライン会議や講座ができるような環境づくりのための提案や導入時の支援を行います

ホームページの作成、SNSの導入、動画撮影

ホームページの新規立ち上げや既存ページの改善、SNSの導入時や動画撮影の支援などを行います

活動の刷新や見直しをしたい！

アンケート活用

受益者のニーズや要望、または、団体の活動の意義や価値について数値化して把握します

ニーズ調査、マーケティング調査

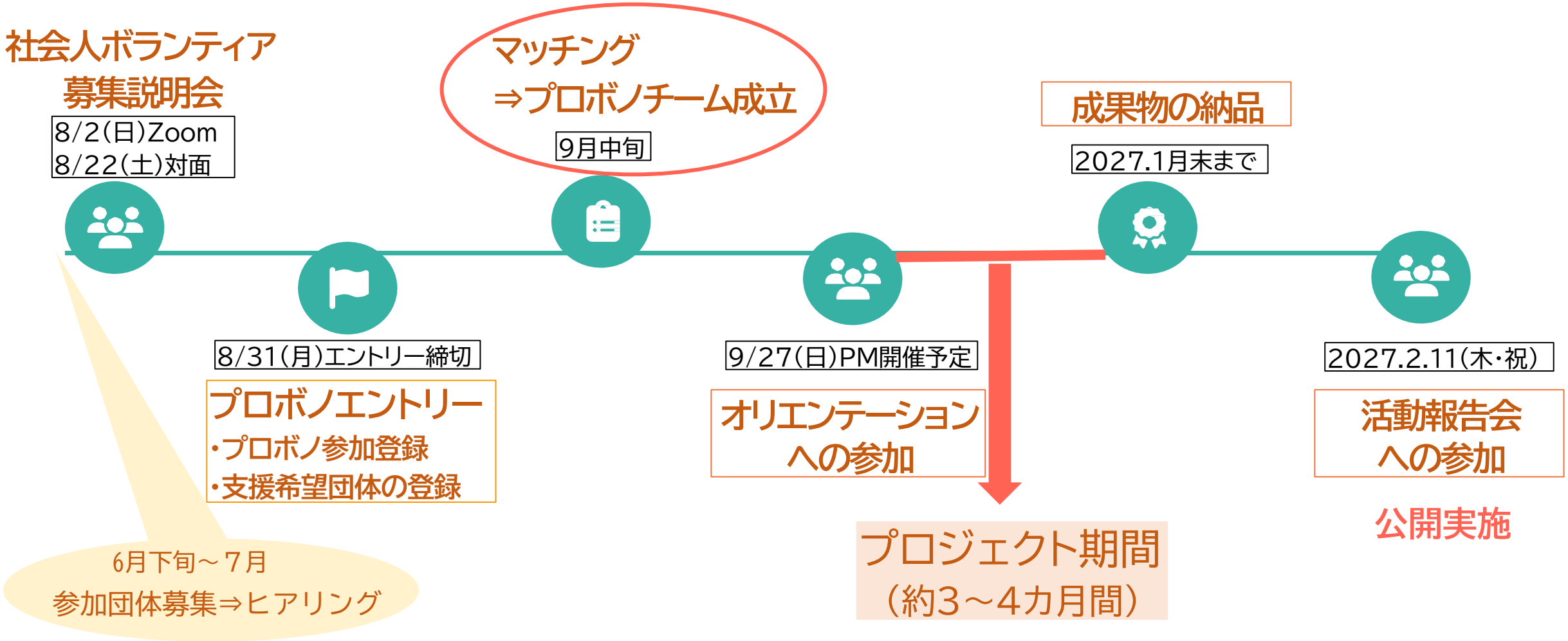
活動やイベント等の利用者・支援者等への調査を通して、効果的な改善方法等を整理・提案します

課題整理ワークショップ

団体の課題を棚卸・整理したり、団体の在り方や課題解決の方向性を一緒に検討します

募集から完了までの6ステップ

※ごく稀に、マッチングがうまく
成立しない場合もあることをご了承ください



約４ヶ月間のプロジェクト活動例

2026.
9/27(日)PM

オリエンテーション、チーム結成

10月初旬～中旬

**キックオフミーティング
活動見学・体験**

10月中旬～10月下旬

**中間提案
⇒ディスカッション**

10月下旬～11月初旬

**最終提案⇒合意形成
⇒成果物作成へ**

3ヵ月間前後で作成

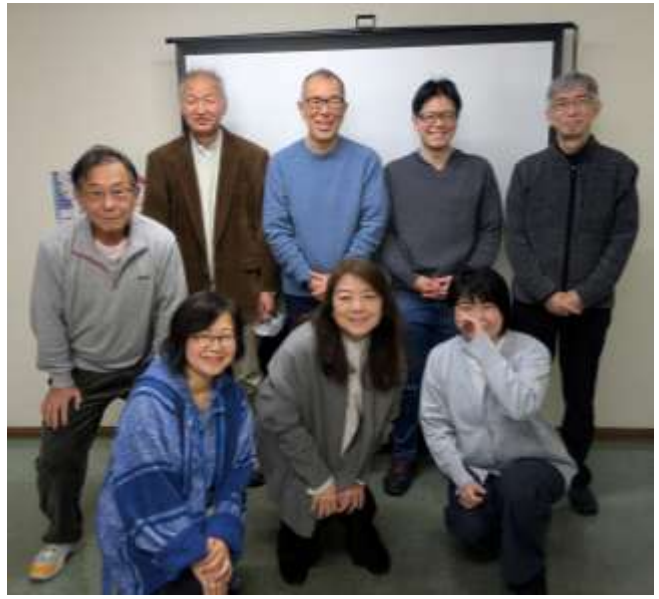
2027.1月末までに完了
2/11(木・祝)報告会参加

**成果物の完了
活動報告会への参加**

昨年のNIAチームでは、小学校でのイベント見学、日本語教室の活動見学も実施







アンケート活動を行っているお祭り会場にも足を運びました

約４ヶ月のプロジェクト活動













プロボノワーカーは学習者として学びの手法を実際に体験しました

約４ヶ月のプロジェクト活動








今年度のエントリー団体と支援希望

社会人ボランティア11名と団体メンバー9名＋6名の学生メンバーが、2チームで約4カ月間のプロボノプロジェクトに参加。4名の経験者が、運営ボランティアとして参加。

	団体名	活動概要	支援希望	主なWeb情報
1	習志野市 国際交流協会	習志野市がアメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市と姉妹都市提携したことを契機として、1987年 両市民の親善・友好促進を願って誕生しました。以来、両市間の交流をはじめとする市民の国際交流活動を推進するとともに、習志野市及び近隣市在住の外国人に対して日本語教室を開催するなど支援を行い、多文化共生社会の構築を目指しています。	Instagram とFacebookの団体アカウントの立ち上げ支援と運用講習の開催	https://www.nia08.com/ (団体ホームページ)
2	谷津太鼓連 （谷津西部連合町会　所属）	谷津地区町会が、地域の活性化と住民の交流の場を提供する為、谷津駅前広場で盆踊りを開催し始め、盆踊りに欠かせない太鼓の演奏を住民が担うということから1980年に活動が始まりました。2006年に谷津西部連合町会が結成され、盆踊り等のイベントの主催が移ったことで、それ以降、谷津西部連合町会の所属団体として活動しています。 毎年８月の第一土日に開催される連合町会の盆踊り大会をメインに、市民祭り「習志野きらっと」の音頭パレード・奏の杜盆踊り大会・秋祭りで、盆太鼓のほか組太鼓も新しく取り入れ、演奏活動を行ってきました。地域の活性化への貢献に努めるとともに、住民発祥の地域芸能を継承しています。現在5名で活動	団体の今後の活動の方向性の整理と設定とWeb上の広報手段の立ち上げ支援	Ｗｅｂ上の情報発信は運用なし

地域を支える活動の基盤強化
× 地域の人材掘り起こし

⇒ 多様な地域コミュニティ形成にも

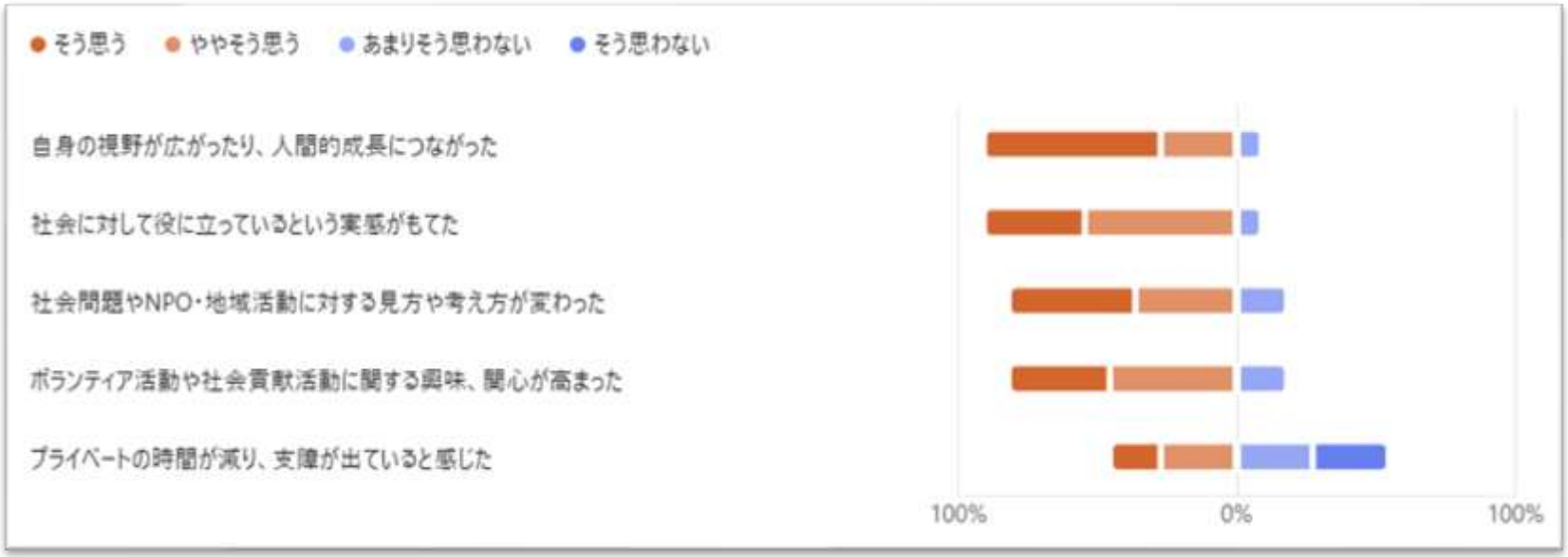




3年目となる習志野市では、昨年・一昨年の経験者から継続参加もあり、今年度の運営やコミュニティ形成をサポートする人材に。
昨年参加者アンケートでも、プロボノ参加により地域課題や社会貢献への関心・意識の変化を感じているという結果が出ている

「ならしのプロボノ2025」
社会人ボランティアの完了後のアンケート回答より⇒⇒

PJに参加しての変化について
（n=11）



3

参考資料

これまでの「ならしのプロボノ」参加団体と活動概要、参加者の声

「ならしのプロボノ2025」参加団体と活動内容

習志野市内で活動する3団体の運営上の困りごとに、11名の社会人ボランティアが参加し、
「広く知ってもらい仲間をふやす」ための3つのプロジェクトを完了しました

	団体名	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	習志野市 国際交流協会 （NIA）	習志野市がアメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市と姉妹都市提携したことを契機として、1987年（昭和62年）両市民の親善・友好促進を願って誕生しました。以来、両市間の交流をはじめとする市民の国際交流活動を推進するとともに、習志野市及び近隣市に在住の外国人に様々な形で支援を行ない、市民の国際化を推進しています。	ホームページのリニューアルを想定した広報全般の見直しと提案	オフライン広報、ホームページ関連、SNS関連、会員募集・応募関連の４つの担当に分けて、 現状の考察と改善案を提案
2	きらっといっぽの会	障がいや発達に配慮が必要な子どもの親で構成されています。当事者の特性を広く知ってもらい地域であたたかく見守る環境づくりを行うためチラシ、ポスターを制作し、習志野市内に掲示するなどの啓発活動を行っています。それと同時に、当事者の保護者への寄り添い活動として「おはなしサロン」を毎月開催しています。 団体の理念は『障がいのある人もない人も一緒に！』です。 ■ホームページは https://kiratto-2017.jimdofree.com/	活動を周知していくための既存ホームページのリニューアルと既存公式LINEの活用方法への提案	ホームページリニューアル、啓発活動のためのアンケートの２つの担当に、社会人ボランティアだけでなく団体メンバーも分かれて、現状課題と改善策を確認。団体が自走できるよう、ホームページの操作講習や更新作業の伴走を行う。アンケートの目的や実施方法を整理して改善策を提案。
3	マスママカレッジ	マスママの「マス」は数学のmathが由来で、障がいをもつ子どもがいるママ達で立ち上げた団体です。数のわからない子でも算数・数学の楽しさを味わいながら親子で学んだり、同じ悩みをもつ親同士で子どもの課題を一緒に考えたり、じっくり、ゆっくり学ぶ活動をしています。数の概念を生活体験のなかで学ぶ手法を通じて、障がいをもつ子を育てる中で大変重要な意味をもつ認識論の学びにもつながっています。毎月1度定期的に行っている「さんすう勉強会」のほか福祉施設での学習ボランティア「出前さんすう広場」を2年前より始め、マンツーマンでのさんすう遊びの楽しさを伝える活動も行っています。	学ぶ様子を含めた活動紹介動画の作成支援と動画を広報に活用する方法の検討	団体の活動への思いを、ヒアリングや会員全員へのアンケートから引き出し、思いに添った活動紹介動画を作成。広報での活用法とあわせて提案。

「ならしのプロボノチャレンジ2024」参加団体と活動内容

	団体名	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	earth FUNTRY!（アースファントリー！）	「こどもたちと一緒に楽しく環境問題・SDGsを考えよう！」のコンセプトの元、オリジナルの歌やダンス、芝居を子どもたちと制作、披露するほか、環境問題等に関するクイズを活用したワークショップやイベント、講演会などを小学校や地域で行い、環境問題への啓発を実施	企業にアピールできるまでのロードマップ作成のためのワークショップの実施と提案	「環境芸術活動に係るアンケート調査」への協力依頼メールの配信、団体に合う助成金情報の整理、提供を行った。団体メンバーが運営について話す場を設定しつつ、ロードマップを見える化した
2	NPO法人 ならしの子ども劇場	「人間性を育む自主的、創造的、文化的な体験活動を行い、子どもにとっての豊かな地域社会づくりをめざします」というミッション実現のために、良質な生の舞台の鑑賞企画、子どもが自由な発想で自発的に遊べる場づくり、子育ての楽しさや地域で育て合う安心感を感じられる場づくりを行っている	業務効率化のためのデータ管理のクラウド化等の実施と団体メンバーへの活用講習の開催	GoogleWorkspaceの導入時の設定作業後に多くの団体メンバーを交えて操作教育、習熟支援を行い、あわせて管理者講習を行った。共同作業で行う団体の広報誌の編集作業効率化の提案とホームページの試作も行った
3	NPO法人 傾聴グループ ぬくもりほっとらいん	悩み苦しんでいる人、孤独の中にいる人々に対して安心して話せる機会を提供するとともに、学習会など傾聴の学びの輪を広げることにより、あたたかい人間関係づくりの一助となること、これらによって“やさしい地域社会づくり”に貢献することを目的として活動している	「20周年式典」で投影する映像の作成支援（目的にあわせた内容整理の支援や編集方法などの提案を含む）	20周年式典用の団体メンバーの動画撮影、ナレーション録音、動画編集等を経て動画映像を作成。Canvaでの動画編集方法のレクチャー、団体広報への提案、伝わるプレゼン方法に関する情報提供などをあわせて行った

「ならしのプロボノチャレンジ2024」参加団体と活動内容

	団体名	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
4	ならしのまち歩き コンシェルジュ	習志野市の歴史、遺跡、風土、生活、人々などを紹介するまち歩きを、ボランティアで企画運営し、習志野市のPRと観光事業に寄与するとともに、地域の活性化と地域愛を育むことにも貢献する活動。まち歩きの運営にあたる「コンシェルジュ」の養成も担っている	新たな「まち歩きイベント」 の展開に関してのアイデアや運営方法の検討と提案	団体メンバーへのアンケート実施、まち歩きを体験後、全国のまち歩き例を調査・考察し、企画面、運営面から新たな「まち歩きイベント」 の展開に関して提案や情報提供を行った
5	津田沼北部 連合町会	ＪＲ津田沼駅に接する習志野市の「表玄関」に当たる地区で、市の支援を受け、三世代交流輪なげ大会　ふれあい音楽祭　市民まつり　防災訓練などの運営を担い、活発に活動している。社会福祉協議会との連携で、毎月「さくらサロン」と称した事業を展開するなど、地域住民のQOL向上に寄与している	ホームページ作成に向けた活動の担い手掘り起こしと育成支援	町会の会員へのアンケートを実施、連合町会のロゴ作成、Jimdoでのホームページ作成とInstagram連携の内容整理と構築、レクチャー、サポートを行い、団体の力で作成、運営できるようホームページ公開まで導いた
6	習志野市 e-sports協会	認知症予防をはじめとする健康面とコミュニケーションツールとして活用する事により得られる精神面の両面にアプローチできる新たなツールとして、e-sportsを高齢者や世代間の交流に活用した活動を行っている。町会や社会福祉協議会、聴覚障害者協会、認知症カフェ、e-sportsでの世代間交流大会等のイベントを実施することで、地域の活性化にもつなげる。	活動の認知を高めつつ、地域の活性化にもつながるような次年度以降のイベント実施の企画提案書の作成	実際のイベントを見学後、イベント企画案を提案・調整し、団体が次年度実現可能な計画として具体化。組織体制づくり等、団体の課題に対応する内容で助言、提案を行った

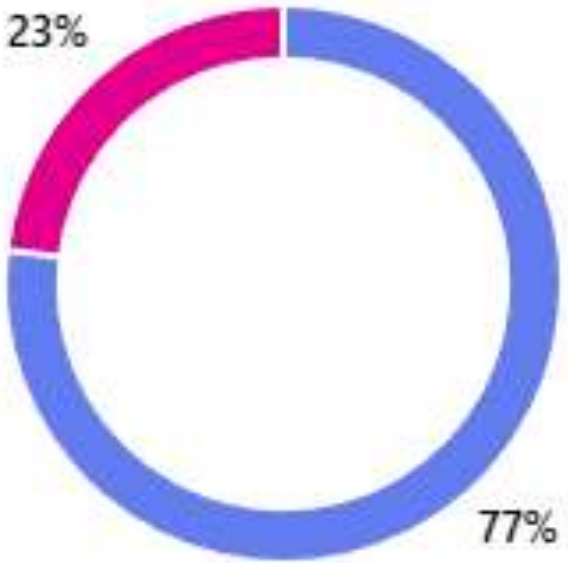
プロボノ完了後のアンケート回答より

団体にとってプロボノは　どうだった？ープロボノ参加団体の声

2025年度参加団体　回答者　3団体13名

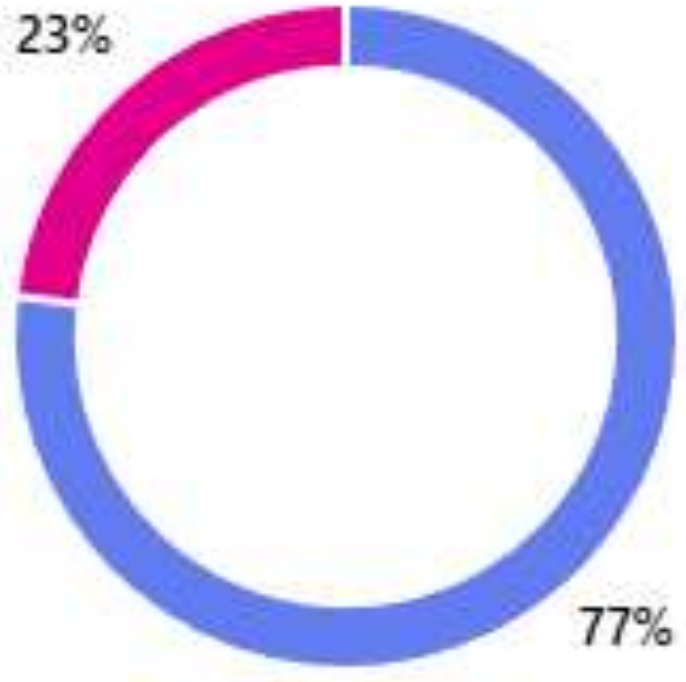
【事業全体について】「ならしのプロボノ2025」に参加されて、全体としてどのように感じましたか？

参加してとても良かった	10
参加して良かった	3
どちらともいえない	0
参加したが良くなかった	0



【成果物の評価について】成果物についてどのように感じていますか？

とても満足	10
満足	3
活用するには検討の余地あり	0
今後の活用は難しい	0



【プロジェクトの影響・効果について】今回の支援を受けたことにより、団体内部で下記のような変化はありましたか？（複数回答可）



「ならしのプロボノ2025」完了後のアンケート回答より

【事業全体について】前問のように感じられたのは、どのような理由からですか。

＜＞は得たと思われるもの

・今まで気づかなかった会の問題や課題に気づくことが出来たから。（4名）　＜第三者性＞
・プロボノの方達とお話する中で、改めて自分達の活動の強み・良さを再確認できました。普段障害者家族と意見交換することが多いので、一般の方からの視点が新鮮でとても参考になりました。

・専門的な意見、提案がよかった　＜スキル、助言＞
・団体の力だけでは解決が難しい事案についてアドバイスをいただくことができました。
・自分達では気付かなかった課題をワーカーさんから助言いただき成果があった
・ワーカーの皆さんの熱意とスキルにただただ感謝です。　＜熱意＞

・自分の団体を客観的に見る機会となった。　＜確認の機会＞
・活動の方向性が改めて再確認できたように思われました。

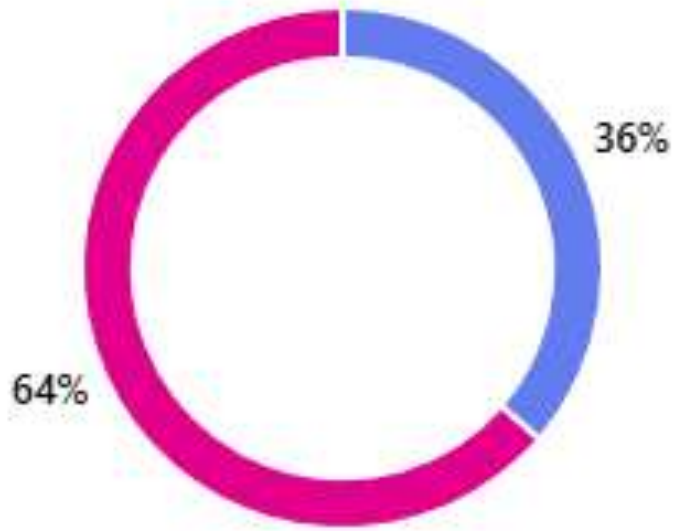
・団体の事をよく理解して頂き、素敵な動画を作成してもらったから

社会人ボランティアにとってプロボノはどうだった？
ープロボノワーカーの声

回答者　11名
（3チーム）

【事業全体について】「ならしのプロボノ2025」に参加されて、全体としてどのように感じましたか？

参加してとても良かった	4
参加して良かった	7
どちらともいえない	0
参加したが良くなかった	0



前問のように感じられたのは、どのような理由からですか。

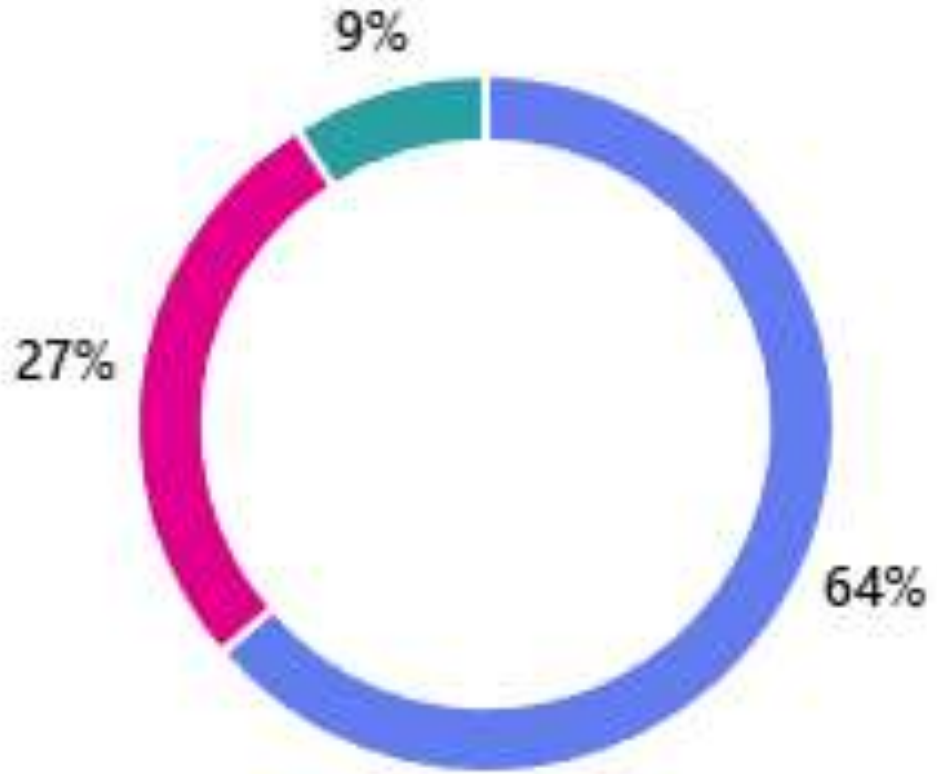
・熱意ある団体（指導者）と交流が出来た　＜団体との出会い＞
・地域の団体を知ることができた。習志野市に住んでいても、あまり地域性を感じる日々ではなかったので。
・多少なりとも気付きを得ていただけた
・団体より「（プロジェクトを通じて）団体の目的を再認識できたことや団体の活動を客観的に振り返ることができた」などの感想があり、プロボノ活動が認められたと実感したため

・支援団体に関する新たな発見と新たなワーカーメンバとの出会い　＜ワーカーメンバーとの出会い＞
・チームワークもよく活動内容もはっきりしていて取り組みやすかった。
・役割分担が明確で活動しやすかった。事務局担当者の采配が素晴らしい。

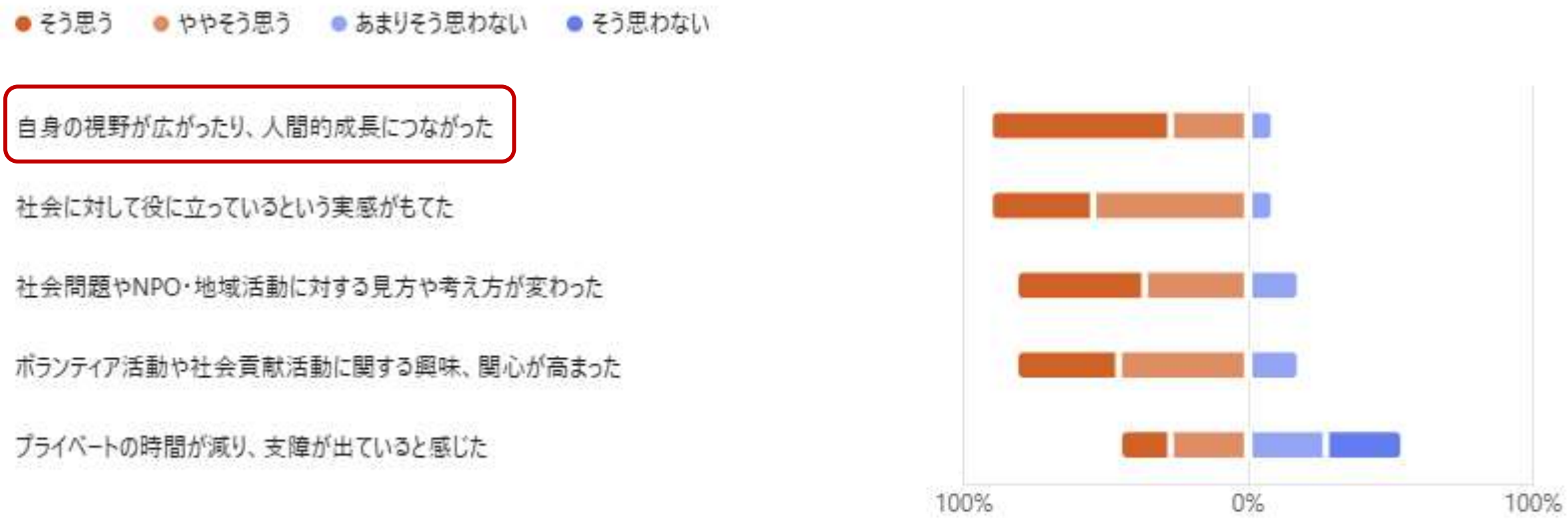
・様々な人から刺激をいただき勉強になることが多かった為。　＜日常と異なる気づき＞
・地域の課題について深く考える機会を得られたことはもちろん、会社では当たり前だと思っていた自分のスキルが、外の世界でこれほどまでに役立つという喜びを実感できました。また、立場の異なるメンバーと一つの活動を形にする難しさを経験できたことも、自分にとって大きな糧となりました。
・普段の業務とは違った形で貢献できる楽しさ（マネジメントではなく自分で手を動かせる）。新しいつながりを得ることができる（プロボノチーム、支援先団体の方）。仕事でも家庭でもない新しい場所を作る事ができる。リアルな困りごとを直接聞くことができ、仕事のアイデアに生かせる。元気を貰える。

【期間設定について】約3カ月～４カ月という支援期間は、どのように感じましたか？

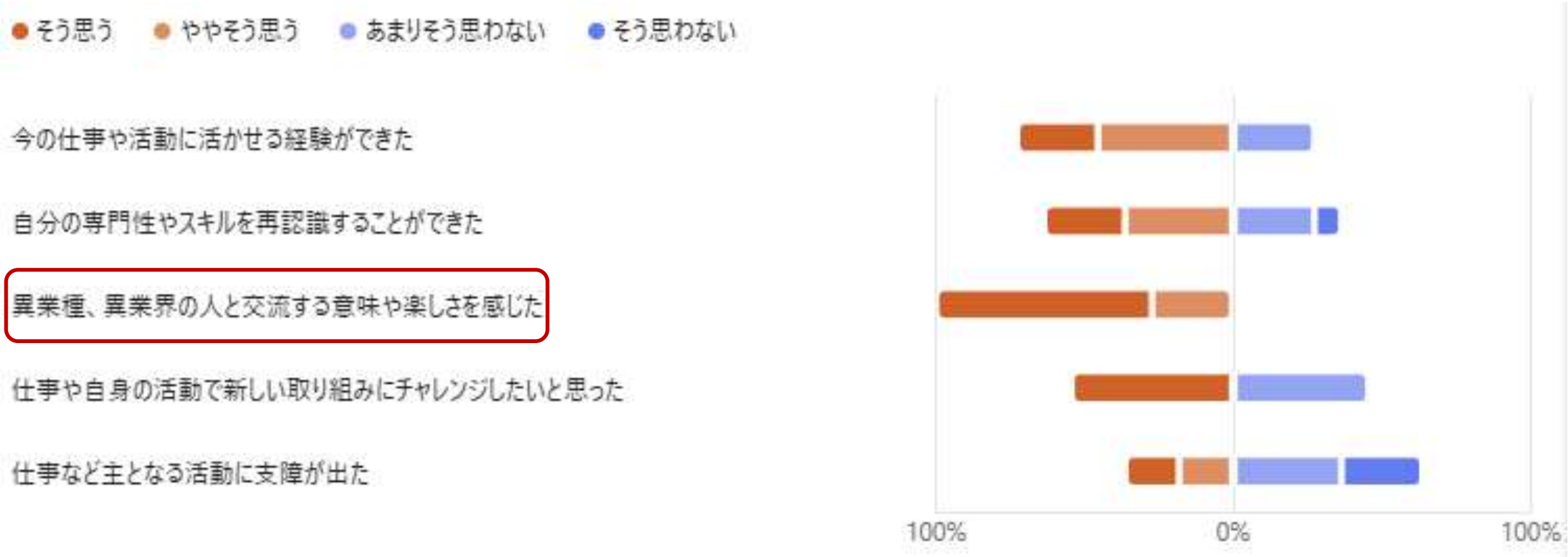
ちょうどよかった	7
もっと長いほうがよかった	3
もっと短いほうがよかった	1
その他	0



【プロジェクトの影響・効果について】「ならしのプロボノ2025」へのご参加で、ご自身の考え方や生活に変化や影響がありましたか？該当する箇所を選択してください。



プロボノへのご参加で、ご自身のお仕事や主となる活動に、
どのような変化や影響がありましたか？該当する箇所を選択してください。



ならしのプロボノ事務局

認定NPO法人　ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
担当：鍋嶋、赤木

〒261-0011　千葉市美浜区真砂5丁目21-12
TEL　043-303-1688（平日9:00～17:00）
Email chiba@npoclub.com

＜令和8年度習志野市市民協働型委託事業＞